

# これまで以上に利用したくなるような図書館の提案

C1240291・伊藤優汰

まず、これまで以上に利用したくなる図書館という題目についてだが私は

1. 今、現在も図書館を利用している人の利用回数を増やすこと
2. 今まで図書館をなかなか利用したことがない人の利用回数を増やすこと

のそれぞれ、またはこれら両方を実現する方法はないか考えた。これについて

1と2でどちらの方の母数が多いのか、これは2が圧倒的に多いだろう。

そして、取り込みやすさについて鑑みても2に属する人々をターゲットにする方が利用回数を増やすのに効果的だろう。そのために私が実際に図書館を訪れた際の感想をもとに案を練っていこうと思う。

## 3 階について

たしかな日付はおぼえていないが5月の中旬から下旬あたり、12.3時頃に一度訪れた。最初の印象としては「暑い」。天気がいい日だったこともあるが気温は平均か少し高いくらいだったと記憶している。湿気と気温も相まってほかに利用している人は一人しか確認できなかった。構造上、熱がこもってしまいやすいというのも分かるが除湿や温度管理をもう少し気に掛けるだけで梅雨の時期や夏場に「とりあえず図書館に行って涼もう」だったり「図書館で勉強し

ていこう」という人を新規に獲得できるのではないだろうか。そもそもの話、図書館に足を運んでくれなければ利用者数を伸ばすことはできない。そこで本を借りるという名目ではなくても「図書館に行こうかな」といった層をつくることが3階の利用者数を増やすきっかけになると思う。

## 2 階について

正直に言うと2階の滞在時間は5～6分程度のものでたいした案や考えは浮かばなかったか。だが、さらっと全体を見た感じだと直感にはなってしまうが普段からあの場所で勉強や調べものをしているのではないかというように見受けられる人が両手で数えられる程度の数いた。ここは空調が完璧に利いていて特に文句はなかった。この魅力を全面的にアピールするだけで利用してみようという人は少なからず来るだろうと思う。

## 1 階について

2階、3階にも言えることだが図書館のその利便性に気づいていない人が多数なのだろう。授業のガイダンスで案内されるだけで終わってしまう人が多くなっているのはやはり、スマートフォンで簡単に欲しい情報が得られてしまうことが影響しているだろう。手間になってしまうのは分かるがより正確であり、学びの理解を深めるためにも1階にある文献の豊富さ、貴重さをもっとアピールした方がいいのではないか。また、パソコンのVIPの件でお世話になっ

たこともあるので本以外に PC のスペシャリストがいることを大々的に  
売り出すべきだと思う。